

東京の大学を知ろう！(XII)

～シリーズ：大学について知ろう（その21）～

今回は私が選ぶ学食そのもののベスト5を紹介することにします。ただし日本の大学すべてを見たわけでもないで、これから紹介する順位は完全に私の独断と偏見によるものです。

第5位は慶應義塾大学三田キャンパスの「山食」。前号で紹介した慶応の誇る？学食の草分け的存在。けっしてキレイとは言えないのですが、壁いっぱい校旗や昔の写真があり（高橋由伸前巨人軍監督就任の時もOB会がこの山食で祝賀会をやったようです）、慶応愛にあふれています。**第4位は青山学院大学青山キャンパスの「17号館食堂（愛称：イチナナ）」。**アオガクの綺麗な女子大生御用達の学生食堂で、オシャレでしかも安い。日替わり定食のネーミングもオシャレで、「表参道」（410円）と「青山物語」（500円）があり、しかもその料理は田舎の男子高校生が食べたことのないようなカタカナ表記がほとんど！さすが青学。**第3位は中央大学多摩キャンパスの「ヒルトップ」。**これは4階建ての建物の名前前で、その中には生協食堂をはじめ全部で10店舗の食堂があり、総座席数は圧巻の3,000席以上。和洋中なんでもありますが、お勧めは4階の和食店で食べることが出来る握り鮓！**第2位は東洋大学白山キャンパス「6号館地下1階学生食堂」。**以前紹介した座席数1,300以上の巨大フードコートで、学食のイメージを大きく変えました。カレー、デリカフェ、パスタ、鉄鍋、洋食、韓国料理の6つの店舗はどれもボリュームがあり、おいしく、しかも安い。これは行くしかない！。そして栄えある**第1位は立教大学池袋キャンパスの「第一食堂」！！**と言うわけで、初めて訪れたときに感動しそこで二度食した食堂のある立教大学を今回は紹介することにします。

~~~~~  
以下の文章は**6年前（2014年）**に私が説明会に参加したときのことを書いたものです。東京6大学の1つで、女子高生の人気が高い東京の有名私立大学の雰囲気ちょっぴりどうぞ。

RIKKYO UNIVERSITY

### 立教大学に行ってきました…

#### 立教大の最寄り駅は池袋！文系女子高生はこの大学を見に行っはいけない！

ところで、駅に近い大学って便利ですね。私が今まで行った大学で一番近かったのが早稲田大学西早稲田キャンパス（キャンパス内に地下鉄の出口があります）。次が目白駅を出て道一本隔てた所にある学習院大、四谷駅から徒歩1分の上智大、調布駅から徒歩3分の電通大…。それらに比べると改札を出て徒歩7分は遠いけど、その駅が「池袋」ってすごくないですか？池袋駅西口の改札を出て、そのまま地下道を進むこと5分、地上に出てわずか200mほど行くと、煉瓦造りの塀が見えてきます…立教大学に到着です！

さて、この大学は（特に文系女子高生は）見ると行きたくなくなってしまうので、見ない方がよいです。正門を入ると左右に高さ25mのヒマラヤ杉があり（ここには12月にクリスマスイルミネーションが光り輝くとか…）、左手に重厚な雰囲気の図書館（旧館）、右手にはなんとチャペル、そして正面にはツタに覆われた本館（1号館）がどっしりと構えています。これら3つの建物は東京都の歴史的建造物の指定を受けているのです。その1号館をまっすぐ通り抜けると、その先のきれいな中庭をへて、正面突き当たりには有名な第一

食堂があります。キャンパスそのものは右手に広がってゆくのですが、そのメインストリートの名称が「鈴懸の径」…。このような雰囲気を知ったとたん「私が入るべき大学はココ！」と、文系女子高生の多くが勘違いしてしまうのでしょうか。その結果、実は立教大学では女子学生の総数が男子学生の総数を上回っているのです。人文学系統の学部はもちろん女子が多く、法・経・経営といった社会学系統でも他大学よりも女子の比率は高く、唯一の理系学部である理学部でさえ女子が3割を超えているとか…。

#### 第一食堂は一見の価値あり！そして食すべし！

さて、今回私が最も期待していたのが、某受験雑誌の「大学の学食ベスト3」に入っていた第一食堂。前述のように正門から入ってまっすぐ突き当たりというわかりやすい位置にあります。昼前に到着した私は、まず腹ごしらえのためにその第一食堂へ…。これまた煉瓦造りの趣ある外観（1918年に建てられたとか…）、入口の所には何やらラテン語で書いてある（哲学者キケロの言葉で「食欲は理性に従うべし」と書かれているとか…）。いよいよ中に入ります。「ウッ！」。これはすごい。こんな学食、今までお目にかかったことがない！高い天井、黒い木の梁、漆喰の壁、やや高さのある黒い腰壁。そして、なんとテーブルもイスも重厚な木製で、イスの背もたれには立教大学のトレードマークとなっている百合の花の姿が切り抜いてあるではないか…。右手奥にある食券売り場でまた絶句。メニューも多彩、かつオシャレ。悩んだ結果、目の前のきれいな女子大生が購入したのと同じ「本日のスペシャルBランチ」に決定！その中身は「ビーフストロガノフにふわとろ玉子味噌汁付き」で450円、ってオシャレで安い？なお、カレーは260円、カツ丼は350円。さらに日替わりで14:30～17:30は安くなるメニューもありっ。さて、お味は…美味っ（今まで私が食べた学食の中で、雰囲気・味・値段の総合点で第1位です！）。



第一食堂の内部

#### 説明会、そしてカワイイ女子大生による施設見学

説明会では、大学の沿革等を含めた全般的説明の後、「異文化コミュニケーション学部」「経営学部」「現代心理学部」の3学部の詳しい説明を聞きました。なお、立教大学には全部で10学部あるのですが、「観光学部」「コミュニティ福祉学部」「現代心理学部」の3学部は池袋キャンパスではなく、埼玉県の新座キャンパスにあります。説明会の後、キャンパスツアーに参加しました。案内してくれたのは堀北真希をポッチャリさせたような文学部2年生のカワイイ女子大生。彼女の案内でキャンパスを一周、その途中で立教大学本館のツタにまつわる都市伝説をいくつか教えてもらいました。例えば、受験生がこのツタにさわると合格するとか、入学後このツタが色づくまでに彼氏ができないとズーッとその後出来ないとか…。

#### オシャレな立教大のお土産は…

さて、キャンパスツアーが終わると夕方に。実は安くなっているはずのカツ丼がどうしても気になり、もう一度第一食堂へ行ってそれを食べたのでした（1日のうちに同じ学食での二度食いは初めてです！）。その後、立教大学グッズを売っている売店「セントポールプラザ」が正門と道を挟んだ向かい側にあつたので、そこへ行ってお土産をさがします。何か立教のマーク入りのお菓子は…ありません！立教にふさわしいとはとても思えない「瓦せんべい」（3枚入り、113円）が。百合の花マークも入っているのでこれで息子への土産は決まりっ。でも、113円の瓦せんべいだけでは可哀想なので、マフラータオルを今回もつけてあげよう。このタオル、白地に紫色の文字で「SAINT PAUL'S」のロゴが入ったオシャレな一品（700円）。ところが、家に帰って土産を見せると「私これ欲しい！」とカミさんがマフラータオルをいち早くゲットしたではありませんかっ!!! 世の中、何が起るか分かりません…。



第一食堂の正面入口



ツタの絡まる図書館旧館